

# きゅうしゅう

NO. 45



写真提供：陸上自衛隊 第4師団広報室

## 目次 CONTENTS

### 1. 部隊紹介

陸上自衛隊 国分駐屯地

### 2. 自治体紹介～鹿児島県霧島市～

### 3. 業務紹介 総務課

### 4. インフォメーション

(表紙について)

陸上自衛隊と米海兵隊との日米共同訓練「フォレストライト01」が、平成30年12月7日(金)から19日(水)までの13日間、大分県の日出生台演習場、十文字原演習場及び福岡県の築城基地等で行われました。訓練には、米海兵隊所属MV-22オスプレイ2機が参加し、ヘリボン訓練等を実施しました。

九州防衛局は、日出生台演習場に現地連絡本部を設置し、地元自治体等への訓練情報の提供等に努めました。



九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

編集・発行

九州防衛局 総務部

福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎

TEL092-483-8811

# 1. 部隊紹介

## 陸上自衛隊 国分駐屯地



第12普通科連隊長 兼ねて  
国分駐屯地司令

わたなべ こうき  
1等陸佐 **渡辺 亘紀**

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」を御覧のみなさま、第12普通科連隊長兼ねて国分駐屯地司令の渡辺1佐です。

国分駐屯地は、薩摩半島と大隅半島の付け根、鹿児島県のほぼ中央にある霧島市に位置し、北には霧島連峰を望み、南には鹿児島県の象徴である桜島を仰ぎ見る、実に風光明媚な駐屯地です。

駐屯地には、第8師団の基幹部隊である第12普通科連隊、新隊員（一般陸曹候補生）等の教育に当たる第113教育大隊の他、業務隊をはじめとする諸隊、計10コ部隊が駐屯し、日夜訓練、教育、諸隊としての業務等に励んでおります。

駐屯地は、昭和30年、特攻隊の基地であった海軍航空隊国分第一飛行場の跡地に開設され、今年で開設64周年を迎えます。九州本土最南端に位置する駐屯地として、南西に訓練等で向かう部隊の中継地としても良く活用されますが、素晴らしい施設と相まって、開設64周年を向かえた今、駐屯地への期待は益々増していると認識しております。

これからも国分駐屯地は、地域のみなさまの信頼と期待に応え、郷土の誇りとして「愛される駐屯地」を、そして何時・如何なる任務にも心手期せずして行動できる日本一「頼られる駐屯地」を目指して、所属隊員一同、誠心努力いたしますので、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

国分駐屯地ロゴマーク



赤色の部分で、鹿児島県の本土をかたどり、隊員の情熱を表した。県のほぼ中央に位置する国分駐屯地を文字で表し、鹿児島に伝わる黒の文化から黒色を配色してある。

国分駐屯地からの風景



桜島



霧島連山

# 駐屯地の風景



正門



国分駐屯地



訓練場

# 各部隊の活動



120mm迫撃砲射撃



新隊員入隊式



災害派遣

# 郷土のみなさんとの交流



駐屯地創立記念行事  
(平成30年11月)



駐屯地夏祭り  
(平成30年8月)



国分特攻慰霊祭  
(平成30年4月)

## 2. 自治体紹介



### 褒め合うまちへ 鹿児島県 霧島市



なかしげ しんいち  
霧島市長 中重 真一

### 市長あいさつ

霧島市は、人口約13万人、面積約603平方キロメートルで、平成17年11月に誕生いたしました。鹿児島県のほぼ中心に位置しており、国際空港である鹿児島空港、高規格幹線道路である九州自動車道、またJR日豊本線・肥薩線など交通の要衝となっております。

また、日本最初の国立公園であり、日本ジオパークにも認定された霧島連山は、天孫降臨の神話の地で、国生み神話の舞台であることから、まさに日本の原点であります。さらに、南には波静かな錦江湾に浮かぶ鹿児島のシンボルともいべき雄大な桜島を望むことができます。

昨年8月に開催された第72回全国茶品評会では、普通煎茶10kgの部で2年連続の産地賞1位に輝き、特別賞（個人）も1～7位を霧島市が独占し、名実ともに日本一となりました。ほかにも国に地域ブランドとして登録されている福山の「鹿児島の壺造り黒酢」、黒豚、黒牛、黒さつま鶏などの特産品もたくさんございます。

こうした歴史や文化、自然の豊かな恵みは、四季折々の美しさで訪れる人々を感動させ、豊かで良質な温泉群は人々の心と体を癒してくれています。ぜひこの機会に霧島市にお越しください。

### 霧島市と自衛隊の関わり

本市には第12普通科連隊等が駐屯する国分駐屯地があり、警備区域内に多数の離島を含み、南九州地区における重要な防衛任務を果たされております。

国分駐屯地は今年で開設64年を向かえ、自衛隊員の皆様には霧島市の行事に積極的にご参加いただいております。霧島国分夏まつりでは、その鍛え抜かれた肉体と精神力で総重量約1トンの神輿を踊るように跳ねさせながら大迫力で担ぐ姿は、毎年見学者を驚かせ、大いに盛り上げていただいております。また、平成31年で第56回の開催となる「市民と自衛隊のつどい」は、自衛隊員と市民がコラボ演奏や寸劇、踊りなどを披露し、多くの来場者と楽しい時間を共有し、相互の信頼関係と親睦を深める貴重な機会となっております。

音楽部の皆様には、建国記念の日祝賀行事や市戦没者追悼式への協力をいただくとともに、定期演奏会には毎回大勢の市民が来場されるなど、市民と自衛隊の強い絆が長年におわたって築かれているところでございます。

本市といたしましては、自衛隊が駐屯する街として、市民の防衛意識の高揚や自衛隊の健全な育成、発展を支援する霧島市防衛協会の拡充、自衛隊員とのなお一層の親睦・融和を図るため、自衛隊の活動を積極的に支援してまいりたいと考えております。

日本一に輝いた「鹿児島黒毛和牛」



まろやかなコクと旨みの特徴の「鹿児島黒毛和牛」



脂身まで美味しい「黒豚」



一流が  
集うまち

鹿児島の新たなブランド  
「黒さつま鶏」



鮮度抜群の「薩摩隼人車海老」



日本一に輝いた「霧島茶」



霧島には一流の温泉がたくさん



一流の宿で格別のひと時を



お問い合わせ先



霧島市の観光については・・・

霧島市役所 商工観光部 観光課

霧島市の食・特産品については・・・

霧島市役所 商工観光部 霧島PR課

〒899-4394

鹿児島県霧島市国分中央三丁目 45 番 1 号

TEL.0995-64-0895 FAX.0995-64-0958

TEL.0995-64-0705 FAX.0995-64-0958

### 3. 業務紹介

#### 総務部総務課

当局は、防衛省の地方出先機関として、自衛隊及び在日米軍と地元を繋ぐパイプ役という役割を担っています。

地方における防衛行政の拠点として、防衛省の施策を地方公共団体や地域住民に理解が得られるよう調整・協議を行う協力確保事務のほか、自衛隊等が使用する施設の建設工事、防衛施設としての土地等の取得や財産管理、基地周辺の公共施設の整備、防音等に対する助成、自衛隊等の行為に係る損失補償、駐留軍等労働者の労務管理などの事務を行っています。

総務課は、これらの業務が円滑に遂行できるよう局内各課を縁の下から支えバックアップしています。

#### 総務課の主な業務

- ・局内の総合調整に関すること
- ・公文書の管理に関すること
- ・公益通報に関すること
- ・情報保証に関すること
- ・個人情報の保護に関すること
- ・情報の公開に関すること
- ・秘密の保全に関すること
- ・職員の人事、採用、教育に関すること
- ・職員の福利厚生、保健衛生に関すること
- ・駐留軍等労働者の労務管理に関すること



#### 労務管理業務とは

当局管内には、佐世保海軍施設ほか多くの在日米軍施設が所在しており、そこでは駐留軍等労働者（従業員）が勤務しています。

当局は、この労働者の雇用主として、労働契約の締結、給与支給額の決定及び支払いなどの労務管理事務を行っています。

また、労働者の募集、給与の計算及び福利厚生の実施などの事務を独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構佐世保支部と連携しながら行っています。

# 4. インフォメーション

## 第36回防衛問題セミナー開催

1月14日(水)、九州防衛局は、長崎県佐世保市の佐世保市民文化ホールにおいて、「明治150年記念セミナー in 佐世保～旧軍港としての発展・そして未来へ～」と題し、『第36回防衛問題セミナー』を開催しました(来場者約300名)。

このセミナーは、明治元年から起算して満150年の節目の年となる本年、あらためて明治期を振り返り将来につなげていくことを目的とし、旧軍港としての発展を遂げた歴史を持つ佐世保にふさわしいテーマの講演を提供するため、佐世保市の共催を得て企画したものです。

はじめに主催者を代表して九州防衛局の三貝哲局長から挨拶した後、2部構成の講演が行われました。

第1部は、「明治150年と日本の近代海軍建設」をテーマに、防衛省海上幕僚監部の金澤裕之3等海佐から、歴史から学ぶ海軍の発展や現代の海上防衛の在り方等について講演しました。

第2部は、「知らなかった！佐世保の近現代史」と題し、ジャーナリストの井上和彦氏から、第一次世界大戦中に佐世保から派遣された旧海軍艦隊の地中海における活躍、とりわけ敵の攻撃を受けた外国船から多くの人々を救出し賞賛を受けたといった歴史に埋もれたエピソードなどを紹介しつつ、旧海軍の拠点としての鎮守府が置かれた佐世保が、日本の近代化に重要な役割を果たした歴史について講演しました。

質疑応答では、「時代の説明をする際は元号も用いてほしい」、「説明にあった海軍と宇宙空間との関わりとは具体的にはどのようなことなのか」、「説明にあった第二特務艦隊の関係資料はどこかに集約されていないか」など、大変熱心な多くの質問が寄せられました。井上和彦氏のユーモアあふれる対応で場内が笑いに包まれるなか講演は終了し、締めくくりに、共催者を代表し佐世保市の川田洋副市長が閉会の挨拶を行いました。

これら講演が明治期を振り返る一助となり、今後益々の佐世保市そして我が国の発展につながる有意義な機会になったと考えています。

九州防衛局は、今後も防衛省の諸施策や自衛隊の活動についてより多くの方々に理解していただくため、九州各地で『防衛問題セミナー』を開催していく予定ですので是非ご参加ください。



▲満員となった会場



▲海上幕僚監部防衛部金澤裕之3等海佐による講演



▲ジャーナリスト井上和彦氏による講演

### お知らせとお願い

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンで飛行させることは、**米軍の航空機との衝突事故等につながるおそれがある大変危険な行為です。**

実際に、米軍ヘリが衝突を避けるために回避を余儀なくされる等、米軍航空機の航行の安全に影響が生じるような事案が発生しています。こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、**法令違反に当たる場合があります。**

**安全確保のため、御理解をお願いいたします。**

**米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、重大事故につながるおそれのある大変危険な行為ですので、行わないで下さい。**

こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、**法令違反に当たる場合があります。**



**防衛省・警察庁・国土交通省・外務省**

■本チラシの内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のいずれかの部署に御連絡願います。  
 防衛省本省 地方協力局地方協力企画課 (代表) 03-3268-3111 (内線: 36245, 36047)  
 防衛省九州防衛局 総務部報道官 (直通) 092-483-8813

## 九州防衛局が新田原基地航空祭「新田原エアフェスタ2018」で広報活動

航空自衛隊新田原基地の「新田原エアフェスタ2018」(12月2日(日))が開催され、訪れた約5万1500人(主催者発表)の来場者で賑わう中、九州防衛局は、会場内にブースを設置し、広報活動を行いました。

ブースでは、九州防衛局広報「きゅうしゅう」をはじめとする防衛省各種パンフレットの配布、航空機等のペーパークラフトの展示・配布、自衛隊災害派遣等のパネル展示、防衛白書クイズ及び平成28年4月の熊本地震や平成29年7月の九州北部豪雨における自衛隊活動記録の上映を行いました。来場者は担当職員に質問するなど、多くの方の関心を集めました。

すでにお馴染みとなっている防衛白書クイズのコーナーでは、クイズに正解すると防衛装備品がプリントされた缶バッジの新作がもらえるとあって、多くの子供達で行列ができました。また、ペーパークラフトの展示では、細部まで丁寧に作られた作品に来場者は立ち止まり目をこらしていました。

九州防衛局は、今後とも、防衛省の諸施策や自衛隊の活動についてより多くの方々にご理解いただけるようわかりやすい広報に努めてまいります。自衛隊の各種イベントにおける当局の広報ブースにて皆様のお立ち寄りをお待ちしています。



▲ブースはいつも賑わっていました。



▲防衛白書クイズにチャレンジ。



▲宮崎地本のマスコットも応援に駆けつけてくれました。

## 平成31年福岡地区自衛隊協力団体合同新年会において三貝九州防衛局長が講話

平成31年1月17日(木)ハイアットリージェンシー福岡(福岡市博多区)において、平成31年福岡地区自衛隊協力団体合同新年会が開催され、三貝哲九州防衛局長が講話を行いました。(講話参加者約70名)

本会は、福岡地区自衛隊協力団体と自衛隊との相互の融和親睦と連携を深めることを目的として福岡県自衛隊協力会連絡協議会など3団体が実施し、三貝局長に講話の依頼があったものです。

講話は、「防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画」と題し、我が国を取り巻く安全保障環境の現状について、また、防衛力強化に当たっての優先事項として、宇宙・サイバー・電磁波の新たな領域における能力の獲得・強化、現行防衛力の体制・機能の充実及びこれらに係る必要な経費についての説明が約1時間にわたり行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。

講話後、自衛隊福岡地方協力本部後援会如月会内藤直徳会長から、「(講話で)我々が知らないことを教えていただいた。計画なくして行動なしと言われるように、本計画に基づいて自衛隊は行動に移していただき、そのために我々も協力団体として支援・協力をしていきたい。」と謝辞をいただきました。



▲講話をする三貝九州防衛局長

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

**夜間及び休日の連絡先**

**電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959**

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、  
休日は終日。